

# 江別市 予算案



## 基本方針

令和2年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の後期5年間の2年次目となります。  
「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

### 基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

## 予算編成のポイント

令和2年度当初予算は、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて取組を推進します。  
また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

### 安心して暮らせるまち

- ・介護人材養成支援事業
- ・生涯活躍のまち整備事業
- ・健康づくり推進事業
- ・地域防災力向上支援事業
- ・庁舎等耐震化関連経費
- ・消防通信指令システム共同整備事業
- ・除排雪事業

### 活力のあるまち

- ・江別まちなか仕事プラザ事業
- ・市民交流施設関連経費
- ・市民文化ホール施設改修事業
- ・オリンピック・パラリンピック推進事業
- ・スポーツ合宿誘致推進事業
- ・はやぶさ運動広場移転事業
- ・総合特区推進事業

### 子育て応援のまち

- ・子ども医療費助成事業
- ・子ども家庭総合支援拠点運営経費
- ・子育て世代包括支援事業
- ・小中学校ICT環境整備事業
- ・待機児童解消対策事業
- ・放課後児童クラブ運営費補助金
- ・病児・病後児保育事業

### 環境にやさしいまち

- ・環境クリーンセンター基幹的設備改良事業
- ・ごみ収集運搬業務委託
- ・環境教育等推進事業
- ・リサイクルバンク運営事業
- ・ごみ排出抑制啓発事業
- ・野生鳥獣等保護管理事業
- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）

## 予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	増減	率
一般会計	45,820,000	45,010,000	△810,000	△1.8%
特別会計	24,258,000	24,488,000	230,000	0.9%
企業会計	17,628,911	16,933,762	△695,149	△3.9%
全会計	87,706,911	86,431,762	△1,275,149	△1.5%

一般会計は450億1千万円で、前年度から8億1千万円（1.8%）減少しました。

これは、プレミアム付商品券事業や江別の顔づくり事業の終了などによるものです。

全会計合計では、864億3,176万2千円となり、前年度から12億7,514万9千円（1.5%）減少しました。

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよくなべつをめざします

ごみ収集運搬業務委託

400,732 千円

家庭から排出されるごみや資源物を収集し、中間処理施設に運搬します。

令和2年10月からの改正点

- ◆ **新規** ごみ出し困難者への戸別収集開始
- ◆ **拡大** 農村地区「燃やせるごみ」の週2日収集開始
- ◆ 土曜日収集の廃止
- ◆ 「燃やせないごみ」臨時収集日の廃止

**見直し** リサイクルバンク運営事業

2,476 千円

ごみの減量化、資源化推進のため、利用可能な家具や物品等を再利用し、市民のリユース意識を高めます。

- ◆ リサイクルバンクを廃止（令和2年9月末）
- ◆ 大型ごみから使用可能な家具等をピックアップし提供するリユース市の開催

花のある街並みづくり事業

3,325 千円

美しい街並みを創出するため、花壇づくりに積極的に取り組む自治会等へ、市民憲章推進協議会を通じて、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力金を助成します。

- ◆ 花苗助成事業等補助
- ◆ 活動協力金



花のある街並みづくり



夏休み環境学校（水辺の自然塾）

環境教育等推進事業

3,356 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発を行います。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育  
ごみ減量体験講座、出前環境学校、夏休み環境学校 など
- ◆ 市民環境講座 など

野生鳥獣等保護管理事業

1,470 千円

捕獲許可申請に基づく鳥獣の適正な捕獲を推進することで鳥獣被害を防止するとともに、野生生物との共存方法を啓発することで生態系の保全に努めます。

- ◆ **新規** ヒグマ捕獲用の箱わなの購入

**新規** 環境クリーンセンター  
基幹的設備改良事業

9,000 千円

稼働開始から20年を迎える環境クリーンセンターの延命化に向けた設備改良工事を行います。  
(改良時期：令和4～7年度の4年間)

- ◆ 長寿命化総合計画策定



環境クリーンセンター

その他主要事業（政策01）

■ 環境負荷軽減推進事業	4,743千円
■ 太陽光発電啓発事業	315千円
■ 環境マネジメントシステム事業	872千円
■ ごみ処理手数料等管理経費	86,784千円
■ 古着・古布及び小型家電資源化事業	2,009千円
■ 街路樹維持管理事業	18,900千円

■ 環境クリーンセンター等 長期包括的運営管理委託事業	998,708千円
■ リサイクルセンター運営管理委託事業	64,877千円
■ 分別・資源化等啓発事業	3,458千円
■ 資源回収奨励事業	39,540千円
■ ごみ排出抑制啓発事業	1,400千円

地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします

都市と農村交流事業

1,600千円

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援します。また、市内だけでなく近隣にも江別の農畜産物のファンが拡大することを目指し、積極的にPRします。

- ◆ 直売所スタンプラリーの実施
- ◆ 農業体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シールの作成
- ◆ 農畜産物加工新商品開発等支援



都市と農村交流事業 江別野菜満喫ツアー



都市と農村の交流センター「えみくる」

都市と農村の交流センター  
管理運営事業

22,420千円

指定管理者による施設の管理運営を通して、「食」と「農」による学びと活力を生み出し、都市と農村地区の交流を図ります。



6次産業化支援事業

2,562千円

都市と農村の交流センター（えみくる）に設置されたテストキッチンの操作指導等により、生産者の6次産業化を支援します。

- ◆ 地域おこし協力隊による6次産業化支援



テストキッチン操作指導研修会



小麦「きたほなみ」

江別産農畜産物

ブランディング事業

2,283千円

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組めます。

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を確保するための助成



「食」と「農」の  
豊かさ発見実践事業

3,797千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
- ◆ 中学生：市内生産者等を招いた授業  
地場産食材を使ったレシピコンテスト



小学校の農業体験学習

企業誘致推進事業

1,416 千円

札幌市に隣接した立地環境、道内都市や空港・港湾への優れた交通アクセス、豊富な人材、安心して暮らせる都市環境、フード特区への指定、研究機関や4大学の集積など江別市の優位性を活かした積極的な企業誘致を推進します。

- ◆ 企業誘致パンフレット作成
- ◆ 企業誘致活動経費（旅費等）

企業立地等補助金

66,465 千円

江別市に工場等を新築・増築した企業に対して、条例に基づき補助金を交付します。立地補助、雇用補助、下水道使用料補助、設備更新補助の4種類があります。

- ◆ 新規補助対象（2社）



総合特区推進事業

12,958 千円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市等と連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ **拡大** 海外バイヤーを招聘しての商談会の実施
- ◆ 食の臨床試験活用企業への機能性食品開発支援
- ◆ 輸出・海外展開の支援
- ◆ フード特区の取組のPR活動



シンガポールで開催した江別フェア

創業スタートアップ支援事業

4,794 千円

市内で創業や事業拡大を目指す方を対象に、創業支援相談員によるアドバイスや、セミナー開催などで支援します。

- ◆ 創業支援等事業者への補助
- ◆ 創業支援相談員による相談の実施
- ◆ 実践創業塾等の開催

商工業活性化事業

2,579 千円

地域経済の活性化のため、研修・研究活動や地域イベントの開催等を支援します。また、制度の周知や個別支援のサポートを行います。

- ◆ 商工業活性化事業補助金
- ◆ 「イベント事業」「研修・研究活動事業」ほか
- ◆ **新規** 商工業活性化サポート事業



女性の就職支援 ビジネスマナー研修

**新規** 江別まちなか仕事プラザ事業

22,796 千円

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加向上と企業の雇用確保・拡大に向けた各種取組を推進します。

- ◆ 就労相談や求人情報の提供
- ◆ 女性やシニア層を対象とした就労支援セミナー等の開催
- ◆ 市内企業向けの雇用確保に関する相談支援やセミナーの開催
- ◆ 企業説明会・交流会等の開催

(参考) 政策03

介護人材養成支援事業

10,884 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

(参考) 政策08

市内大学等インターンシップ事業

327 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、江別市内で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ（3か月間（実働30日）、10名程度）

観光振興計画推進事業

8,379 千円

観光振興計画に基づき、観光による交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

- ◆ 観光推進体制の検討
- ◆ 市内循環バスによる日帰り周遊観光の促進
- ◆ サイクルツーリズムの推進
- ◆ 産業連携新商品開発支援
- ◆ 観光セミナーの開催



観光振興計画推進事業 「えべつぐるっとバス」

地域発見魅力発信事業

4,575 千円

地域資源を活用した江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ **新規** こどもパスポートを近隣市町村と共同発行
- ◆ 留学生向けバスツアーの開催
- ◆ ノハナショウブ群生地 の保存活用
- ◆ 地域おこし協力隊による江別の魅力発信

食を軸とした  
地場産品販路拡大支援事業

418 千円

江別産品の掘り起こしと高付加価値化を図り、ブランド化及び販路拡大を推進します。

- ◆ 北海道産品取引商談会の出展支援
- ◆ 江別産品試食評価相談会の開催
- ◆ 美味しい江別フェア(東京都内で実施予定)の開催支援



美味しい江別フェア

江別観光協会補助金

2,710 千円

江別観光協会が取り組む江別市の観光プロモーション活動を支援し、観光客の増加を図ります。

- ◆ 観光パンフレット、観光名刺の作成費補助
- ◆ 観光ボランティアガイド事業の補助
- ◆ 観光特使関係経費への補助
- ◆ イベント等でのPR経費への補助



江別アンテナショップGET'S

江別アンテナショップ  
GET'S管理運営事業

8,591 千円

旧ヒダ工場（E B R I）内アンテナショップの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力発信を図ります。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託
- ◆ 市内大学生等と連携した壁面黒板チョークアートの実施



その他主要事業（政策02）

■ 地域農業経営安定推進事業	87,020千円
■ 経営所得安定対策等推進事業	13,727千円
■ 次世代就農定着サポート事業	23,250千円
■ 農業用ハウス強靱化緊急対策事業	6,267千円
■ ため池ハザードマップ作成事業	3,696千円
■ 日本型直接支払交付金	189,288千円
■ 道営農業農村整備事業負担金	51,551千円

■ 勤労者研修センター管理運営事業	9,290千円
■ 勤労者生活資金貸付事業	3,500千円
■ シルバー人材センター事業補助金	23,339千円
■ 中小企業資金融資事業	1,244,683千円
■ 江別駅前再開発事業	118,889千円
■ 旧岡田倉庫活用事業	11,743千円
■ 江別商工会議所補助金	8,575千円

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

健康都市推進事業

2,411 千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施



野菜ソムリエによる野菜摂取啓発イベント



江別オリジナルリズムエクササイズ「E-リズム」

健康づくり推進事業

4,996 千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 自殺予防のための相談先一覧カードの普及
- ◆ 自殺予防ゲートキーパー養成研修
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援

健康教育事業

1,124 千円

生活習慣病の予防や健康保持増進のため、食生活の改善や運動習慣の定着など健康づくりを推進します。

- ◆ 健康づくりサポーター養成講座の実施
- ◆ 喫煙予防教室の実施（小学生）
- ◆ 生活習慣病予防教室の実施（中学生）

成人検診推進事業

79,361 千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ がん検診の実施
- ◆ 集団検診事務の一括委託化  
(受付業務、電話受診勧奨、WEB予約運用)



(参考) 特定健康診査等事業  
(国民健康保険特別会計)

68,142 千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を行います。

- ◆ **拡大** 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨パンフレットの送付
- ◆ けんしん受付ダイヤルと連携した電話勧奨
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問勧奨



特定保健指導



リハビリテーション職による介護予防体操指導

(参考) 一般介護予防事業（「通いの場」を活用した介護予防・健康づくり）  
(介護保険特別会計)

5,755 千円

要介護状態・要支援状態になることを予防し、社会に参加しつつ地域において自立した日常生活を営むことができるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援

**新規** 介護人材養成支援事業

10,884 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

介護サービス提供基盤等

整備事業 79,785 千円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの基盤整備を推進します。

- ◆ 地域密着型サービスの整備

障害者社会参加支援事業

5,607 千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
- ◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供

障害者就労相談支援事業

9,719 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合的な就労・雇用相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

市民後見推進事業

9,757 千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修
- ◆ **新規** 市民後見人養成講座



市民後見人フォローアップ研修

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	99,822千円
■ 夜間急病センター運営経費	147,873千円
■ 高齢者予防接種経費	56,686千円
■ 障害者自立支援給付費	3,154,802千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	861,950千円
■ 自立支援医療給付費	188,444千円
■ 重度心身障害者医療費助成事業	211,217千円
■ 生活困窮者自立支援事業	28,311千円

■ 年末見舞金支給事業	12,189千円
■ 福祉除雪サービス事業	21,737千円
■ 老人ホーム入所措置経費	68,805千円
■ 生活扶助自立助長支援事業	2,592,000千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,040,213千円
■ 病院事業会計繰出金	1,693,119千円
■ 介護保険会計繰出金	1,539,889千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	434,876千円

だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします

地域防災力向上支援事業

2,295 千円

市民への出前講座や防災訓練の実施により、「自助・共助」等の防災意識の啓発を図り、地域防災力の向上を推進します。

- ◆ **新規** 地域連携避難所運営訓練 (毎年実施)
- ◆ **見直し** 総合防災訓練 (毎年⇒隔年実施)
- ◆ 防災研修・出前講座 (防災講話・避難所運営訓練等)
- ◆ 防災あんしんマップの全戸配布



避難所運営訓練



江別市自主防災研修会

災害対応物品整備事業

7,847 千円

災害発生時に必要な物資・資機材について、過去の災害等を考慮して計画的に整備していきます。

- ◆ 食料、水、簡易トイレ 等
- ◆ **見直し** 冬期の災害への対応物品 (寝袋・アルミマット等)
- ◆ **新規** 発災当初に開設する避難所の備蓄場所等を整備



耐震化推進支援事業

2,309 千円

「江別市耐震改修促進計画」に基づき、現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害を未然に防止します。

- ◆ 耐震診断補助 (89千円/件)
- ◆ 補強設計補助 (100千円/件)
- ◆ 耐震改修補助 (822千円/件)



防災備蓄庫 (第一中学校)

空家等対策推進事業

1,785 千円

空き家の流通・活用の促進や適切に管理されていない空き家等の解消により、安全で安心な住環境を確保します。

- ◆ 空家等対策協議会の開催
- ◆ 危険空き家等への応急対応
- ◆ 特定空き家等の認定
- ◆ 特定空き家等の解体補助

葬斎場施設整備事業

30,600 千円

葬斎場の安定運営を行うため、計画的に設備の更新、改修を実施します。

- ◆ 霊台車改修
- ◆ 火葬炉設備更新 (動物炉)



自治会防犯灯設置費補助金

7,490 千円

各自治会等が設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED防犯灯普及奨励金を交付します。

- ◆ 防犯灯設置費補助金 (314灯予定)
- ◆ LED防犯灯普及奨励金 (504灯予定)



LED自治会防犯灯



消防車両整備事業

85,700 千円

災害発生時に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に整備していきます。

- ◆ 災害支援車、救急自動車の更新



現在の救急自動車



救命講習

救急業務高度化推進事業

5,285 千円

救急活動の質を向上させるため、隊員の再教育研修を行います。また、市民を対象とした救命講習会を実施します。

- ◆ 救急救命士の再教育研修
- ◆ 定期的を開催する救命講習

交通安全教育・啓発事業

9,767 千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 通学路街頭指導の実施



交通安全教室



電柱巻き付け標識

交通標識設置事業

557 千円

交通事故防止のため、通学路等に注意喚起看板やストップマークを設置します。

- ◆ 注意喚起看板の設置
- ◆ ストップマークの設置

その他主要事業（政策04）

■自治会防犯灯維持費補助金	22,373千円
■環境衛生対策促進事業 （市営墓地維持管理）	9,676千円
■やすらぎ苑整備事業	7,728千円
■江別河川防災ステーション管理経費	22,419千円
■排水機場維持管理事業	67,831千円
■河川等維持事業	10,339千円

■公共街路灯維持管理経費	65,843千円
■公共街路灯新設更新等事業	39,600千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	32,489千円
■消防緊急情報システム管理経費	24,707千円
■消防通信指令システム共同整備事業	2,128千円
■消防団運営費	29,874千円
■庁舎等耐震化関連経費	298千円

暮らしやすさを実感できるレベルに向けて都市基盤の形成をめざします

新築団地建替事業

502,023 千円

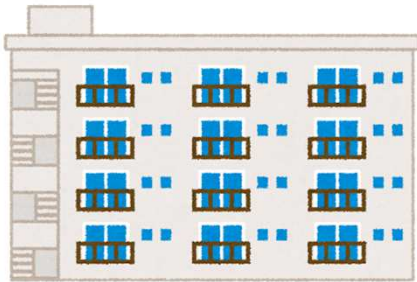
令和元年度に完成したD棟に続き、E棟の建設工事に着手します。

(全体計画 6棟290戸 平成22～令和5年度)

- ◆ E棟建設工事(49戸 令和2～3年度)
- ◆ 既存住宅除却工事



完成したD棟



市営住宅長寿命化計画  
策定事業

4,568 千円

平成23年度に策定された江別市市営住宅長寿命化計画(平成24年度～令和3年度)を見直し、次期計画を策定します。

- ◆ 計画策定委員会の開催等

市民参加による  
公園づくり事業

44,920 千円

地域の子どもや自治会等とともに、住民に親しまれる公園を整備します。

- ◆ ゆりのき公園再整備工事(野幌住吉町)
- ◆ 公園再整備のためのワークショップの開催



市民参加による公園づくり事業



除排雪作業

除排雪事業

1,280,781 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援

車両整備事業

40,207 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除雪車を整備し、計画に沿って更新を行います。

- ◆ 除雪ドーザの更新(1台)



## 政策05 都市基盤

### 道路橋梁新設改築事業

262,570 千円

市内の幹線道路等について道路拡幅や歩道造成などの整備を実施し、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保します。

- ◆ 元江別66号道路
- ◆ 兵村4丁目通
- ◆ 元江別中央通
- ◆ 大麻駅跨線人道橋



拡幅整備した兵村4番通り



### 定住促進事業

5,461 千円

市内外の高齢者や子育て世代など多様な方々の定住を促進するとともに、地域のまちづくり活動を支援します。

- ◆ 定住に関する相談窓口対応
- ◆ 東京圏からの移住に対する支援金制度（北海道との連携事業）
- ◆ 地域おこし協力隊による情報発信・まちづくり活動

### 生活バス路線運行補助事業

38,000 千円

生活バス路線の維持・確保のため、市内赤字バス路線への補助を行います。

- ◆ 市内赤字バス路線への補助



野幌駅北口バス停



### 公共交通利用促進対策事業

4,201 千円

「地域公共交通網形成計画」に基づき、交通機能を維持・確保し、情報提供の強化等により公共交通の利用促進を図ります。

- ◆ 地域公共交通活性化協議会等の開催
- ◆ ハスマップ等作成
- ◆ 江北地区デマンド型交通補助金
- ◆ 豊幌地区のデマンド型交通検討

### その他主要事業（政策05）

■ 野幌駅周辺土地区画整理事業等関連経費	18,060千円
■ 公園管理事業	210,323千円
■ 公園施設改修整備事業	163,821千円
■ 市営住宅環境改善整備事業	20,482千円
■ 弥生団地大規模改善事業	102,168千円
■ 市営住宅管理経費	52,835千円
■ 道路橋梁再整備事業	188,442千円

■ 道路橋梁管理経費（臨時）	363,559千円
■ 道路施設再整備事業	241,980千円
■ 橋梁長寿命化事業	152,794千円
■ ロードヒーティング管理経費	40,647千円
■ 建設機械等維持管理事業	50,766千円
■ 水道事業会計繰出金	6,232千円
■ 下水道事業会計繰出金	936,105千円
■ 石狩東部広域水道企業団繰出金	66,022千円

未来のえびつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

子ども医療費助成事業

180,542 千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

令和2年8月診療分から

◆ **拡大** 小学1年生～小学3年生の通院医療費助成

◆ **拡大** 中学生の入院医療費助成

課税世帯 3割負担(助成なし) ⇒ 1割負担

非課税世帯 3割負担(助成なし) ⇒ 初診時一部負担金のみ

**新規** 子ども家庭総合支援拠点

運営経費

6,549 千円

児童虐待防止対策強化のため、支援が必要な子どもとその家庭及び妊産婦等を関係機関と連携しながら支援し、児童の健全な育成を図ります。

- ◆ 子育て世帯等への相談・情報提供
- ◆ 要保護児童・特定妊婦等への支援
- ◆ 福祉、保健・医療、教育等の関係機関との連携調整

子育て世代包括支援事業

13,597 千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで子どもを産み育てやすい環境を整え、子育てや乳幼児の健全な育成を支援します。

- ◆ 妊婦面接・支援プランの作成
- ◆ 産後ケア事業
- ◆ 産婦健診
- ◆ 巡回型親子健康相談

待機児童解消対策事業

18,149 千円

待機児童の解消に向け、受け皿となる教育・保育施設等に対し、保育従事者の養成や保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 子育て支援員研修
- ◆ **新規** 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ **新規** 保育士等宿舍借上支援事業
- ◆ **新規** 保育施設見学バスツアー

教育・保育施設等給付事業

2,872,496 千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国が定める公定価格に基づく給付費を支給するほか、認可外保育施設等の無償化にかかる給付費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化



保育園の地域清掃活動

民間社会福祉施設整備費

補助事業 182,431 千円

民間事業者が行う保育施設の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備や待機児童の解消を促進します。

- ◆ 民間保育施設整備に対する補助(3施設)
- ◆ 民間保育施設の建設費償還金補助

病児・病後児保育事業

34,638 千円

病児・病後児保育を実施している事業者に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ **拡大** 病児・病後児保育実施事業者への補助(1施設→2施設)
- ◆ 感染症流行情報等の発信、保育施設の巡回・情報共有に対する補助

保育料の独自軽減

「えびつ・安心子育てプラン(江別市子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 25.82%

※3歳児以上の保育料は令和元年10月から無償化となりました



やよい保育園(餅つき)

情報教育推進事業

83,507 千円

児童生徒のICT教育を推進するため、パソコンや指導者用デジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ **新規** 指導者用デジタル教科書の整備（小学校の外国語）
- ◆ 指導者用デジタル教科書の更新（小学校の国語・算数）
- ◆ 教育用パソコンの更新（償還金）

**新規** 小中学校ICT環境整備事業

38,068 千円

教育の情報化を進めるためにICT環境を整備するとともに、校務の効率化による教職員の働き方改革を推進します。

- ◆ **新規** 校務支援システムの導入（市内小中学校全校）
- ◆ 校務用パソコン等ICT機器の維持管理経費
- ◆ 校務用パソコンの更新（償還金）

小中学校学習サポート事業

9,223 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチーム・ティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）



複数教員による指導



外国語指導助手による授業

小中学校外国語教育支援事業

34,953 千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校高学年と中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チーム・ティーチングを行います。

- ◆ 外国語指導助手の配置（10名）

児童生徒体力向上事業

648 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的にできる「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前授業の実施（5校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



児童生徒体力向上事業 出前授業

医療的ケア児支援事業

265 千円

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行います。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援の際には安全かつ適正に医療的ケアを行います。

- ◆ 看護師3名を学校に配置
- ◆ 医療的ケア運営協議会の運営



スクールソーシャルワーカー事業

7,459 千円

いじめ・不登校・非行など問題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援します。

- ◆ 問題を抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・関係機関との連携調整

放課後児童クラブ  
運営費補助金 135,134 千円

民間放課後児童クラブに対し、設置・運営に係る費用の一部を助成し、市内における放課後児童健全育成の充実を図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 待機児童の発生が見込まれる小学校区に新規クラブを開設



児童センターでの活動

放課後児童クラブ運営事業 16,146 千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者へ委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



児童館地域交流推進事業 62,564 千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（2クラブ）の運営

放課後児童クラブ  
待機児童対策事業 4,633 千円

放課後児童クラブにおける待機児童対策として、児童センターにおいて受け入れ体制の拡大を図り、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供

あそびのひろば事業 2,666 千円

地域の子どもたちの遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 地域あそびのひろばの開催



子育てひろば『ほこ あ ほこ』

親子安心育成支援事業  
(子育てひろば事業) 26,687 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ほこ あ ほこ』を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ほこ あ ほこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設

その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	118,596千円
■ 児童扶養手当	471,207千円
■ 児童手当	1,582,275千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	40,950千円
■ 障害児通所支援事業運営費	22,334千円
■ 予防接種経費	207,734千円
■ 妊婦健康診査経費	49,589千円

■ 私学助成幼稚園給付事業（幼児教育無償化）	85,909千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	4,412千円
■ 特別支援教育推進事業	38,283千円
■ 特別支援学級生活介助事業	55,562千円
■ 学校給食事業	265,932千円
■ 小・中学校教育扶助費	185,600千円

心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします

**新規** 市民文化ホール施設改修事業 284,900千円

建設から22年が経過した市民文化ホール設備の改修工事を行います。

- ◆ 照明設備改修工事
- ◆ 舞台吊物装置更新工事



市民文化ホール

**新規** はやぶさ運動広場移転事業 1,540千円

はやぶさ運動広場の少年野球場及び多目的広場を、都市と農村の交流センター「えみくる」へ移転します。

- ◆ 現況測量委託

**新規** オリンピック・パラリンピック推進事業 1,000千円

東京2020オリンピック・パラリンピックを通じ、スポーツへの関心を高め、市民スポーツ活動の活性化を図ります。

- ◆ パブリックビューイングの実施
- ◆ 応援垂れ幕・看板の設置
- ◆ パラリンピック採火イベントの実施

スポーツ合宿誘致推進事業 2,829千円

世界規模のスポーツ大会の国内開催を契機に合宿誘致を進め、トップアスリートとの交流などを通じた市内のスポーツ振興を図ります。

- ◆ 合宿利用団体誘致
- ◆ 道外からの利用団体への送迎サービス
- ◆ 野幌総合運動公園等の利用料補助
- ◆ **新規** 市内宿泊施設利用時の宿泊料補助



第5回江別市中学校・高校美術部合同展(2019)

セラミックアートセンター 企画展開催事業 6,709千円

「やきもののみち江別」のイメージを市民と共有し、優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展を開催します。

- ◆ 市町村立美術館活性化事業
- ◆ 「瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美」展
- ◆ 「第6回江別市中学校・高校美術部合同展」
- ◆ 「えべつFUROSIKIフェスティバル2020」

えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業 183千円

市内の4大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に学ぶ機会を提供します。

- ◆ ふるさと江別塾開催
- ◆ えべつ市民カレッジの市民向けPR
- ◆ **見直し** 学長奨励賞の新設



ふるさと江別塾

その他主要事業(政策07)

■ 市民文化ホール管理運営事業	52,647千円
■ コミュニティセンター管理運営事業	17,080千円
■ 公民館管理運営事業	95,875千円
■ 図書館運営管理事業	83,258千円
■ 図書館資料整備事業	20,500千円
■ 陶芸文化普及振興事業	6,769千円
■ 市民文化祭開催支援事業	2,400千円

■ 芸術鑑賞招へい事業	1,850千円
■ 屋内体育施設管理運営事業	190,175千円
■ スポーツ大会等振興補助事業	43,532千円
■ 体育施設整備更新事業	6,591千円
■ 大麻体育館改修整備事業	11,750千円
■ セラミックアートセンター管理運営経費	39,781千円

市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえつをめざします

市民交流施設関連経費  
(計5事業) 41,021 千円

市民交流施設「ぷらっと」の運営等に必要経費を計上します。

- ◆ 市民活動センター
- ◆ 国際センター
- ◆ 証明交付窓口
- ◆ 観光案内
- ◆ 情報図書館の図書貸出・返却



市民交流施設ぷらっと



市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップ

市民協働推進事業 3,132 千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 公募による協働のまちづくり活動への補助
- ◆ 市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップの開催
- ◆ 市民活動情報誌の発行

自治基本条例関連事業 1,456 千円

自治基本条例の内容について周知啓発することで、市民自治によるまちづくりを推進します。

- ◆ 自治基本条例検討委員会の開催
- ◆ 早朝ミニ講座（小学生・中学生）の実施



早朝ミニ講座



えつ地域活動運営セミナー

自治会活動等支援事業 74 千円

地域活動（自治会・市民活動など）が活性化することを目指し、地域の活動を担う人材育成を支援します。

- ◆ えつ地域活動運営セミナーの開催
- ◆ 自治会の女性役員等による意見交換会の実施

市内大学等  
インターンシップ事業 327 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、江別市内で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ（3か月間（実働30日）、10名程度）



市内大学等インターンシップ事業 実習報告会



学生地域定着自治体連携事業 3,554 千円

市内4大学の学生が地域活動やインターンシップなどに参加するためのコーディネートを行い、卒業後の地域定着を図ります。

- ◆ 道内8自治体等で組織する学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生の地域活動等と受入先とのマッチング支援
- ◆ 市内における学生の地域活動への参加支援



学生地域定着自治体連携事業



大学連携調査研究助成事業

大学連携調査研究助成事業 2,085 千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金（上限100万円）
- ◆ 大学連携事業報告会の開催

大学連携学生地域活動支援事業 425 千円

市内4大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金（上限10万円）
- ◆ えべつ未来づくり学生コンペティション



大学連携事業に係る報告会



大学版出前講座

大学版出前講座支援事業 25 千円

市内4大学の教員が地域等へ出向き、専門知識を生かしたテーマについて講演する出前講座を支援します。

- ◆ 出前講座の登録
- ◆ 出前講座の周知・広報
- ◆ 出前講座の開催調整



その他主要事業（政策08）

■ 住区会館管理運営事業	57,861千円
■ 市政協力事業補助金	7,832千円
■ 地域自治活動事業補助金	17,633千円
■ 江別市自治会連絡協議会補助金	1,407千円

■ 住区会館施設整備事業	1,056千円
■ 自治会館運営補助金	3,527千円
■ 小中学生国内交流研修事業	1,535千円
■ 中学生国際交流事業	2,050千円

透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します

生涯活躍のまち整備事業

13,012 千円

生涯活躍のまち形成事業計画に基づき、江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指します。

- ◆ 生涯活躍のまちコーディネーターの配置
- ◆ 大麻地区に開設準備室を設置

大学生転入・住民登録推進事業

172 千円

市内4大学の新生入学生や在校生に対して、江別市内への転入や適正な住民登録を促します。

- ◆ 入学生、在校生に対する住民登録制度周知パンフレットやポスターの作成、配布

えべつシティプロモーション事業

4,055 千円

江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、市民と行政が一体となったプロモーションを実施します。

- ◆ 子育て世代向けセミナー
- ◆ SNSによる地域PR
- ◆ 地域おこし協力隊による地域PR



子育て世代向けセミナー



特設サイト、転入促進パンフレット

ウェルカム江別事業

286 千円

交通の利便性や割安な不動産価格などの優位性、快適な住環境、充実した教育体制、子育て政策など、江別市の魅力を市外の子育て世代にPRし、転入者の増加を目指します。

- ◆ 転入促進パンフレットの作成
- ◆ 特設サイトの充実

ふるさと納税普及促進事業

72,468 千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産品等のPRのため、ふるさと納税をしていただいた方(寄附者)に対し返礼品等を贈呈します。

- ◆ ふるさと納税者(寄附者)への返礼品等贈呈



ふるさと納税「江別市特産品カタログ」

その他主要事業(政策09・政策の総合推進)

■ 住民情報システム高度化事業 (基幹系システム運用)	135,078千円
■ 個人番号カード発行関連経費	102,125千円
■ 職員研修事業	7,320千円
■ ネットワーク網整備・保守事業	70,755千円
■ 庁舎維持管理経費	101,507千円

■ ホームページ運営事業	2,254千円
■ 広報えべつ発行等事業	14,673千円
■ 男女共同参画啓発事業	745千円
■ 江別駅周辺地区土地利用検討事業	1,244千円
■ 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	9,947千円

# 特別会計

24,488,000千円 (前年比+230,000千円、+0.9%)

## 国民健康保険特別会計

12,185,000千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付の適切な実施とともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。

## 後期高齢者医療特別会計

1,798,000千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、被保険者証の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

## 介護保険特別会計

10,382,000千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第7期介護保険事業計画（平成30年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。

## 基本財産基金運用特別会計

123,000千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

# 公営企業会計

16,933,762千円 (前年比△695,149千円、△3.9%)

## 水道事業会計

3,787,517千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、引き続き基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備を行うほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

## 下水道事業会計

5,449,884千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、重要度や緊急度を考慮した長寿命化計画に基づき、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

## 病院事業会計

7,696,361千円

- ◆ 病院事業では、「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」からの答申に基づく組織体制の見直し、経営改善策を着実に実行し、経営再建を目指します。
- ◆ 医療環境の変化に対応しつつ地域密着型の医療を安定的に提供できるよう、担うべき医療を重点化し、地域の医療機関と連携を図ります。
- ◆ 市立病院の医療機能を維持するため、内科系医師の確保を最優先に取り組みとともに、総合病院の強みである診療科間の連携強化を図ります。
- ◆ 病院広報誌や健康セミナーなど、積極的なPR活動を行い、さらなる市民の理解浸透を図ります。
- ◆ 健康都市の実現に向けて、在宅医療の充実に努めます。

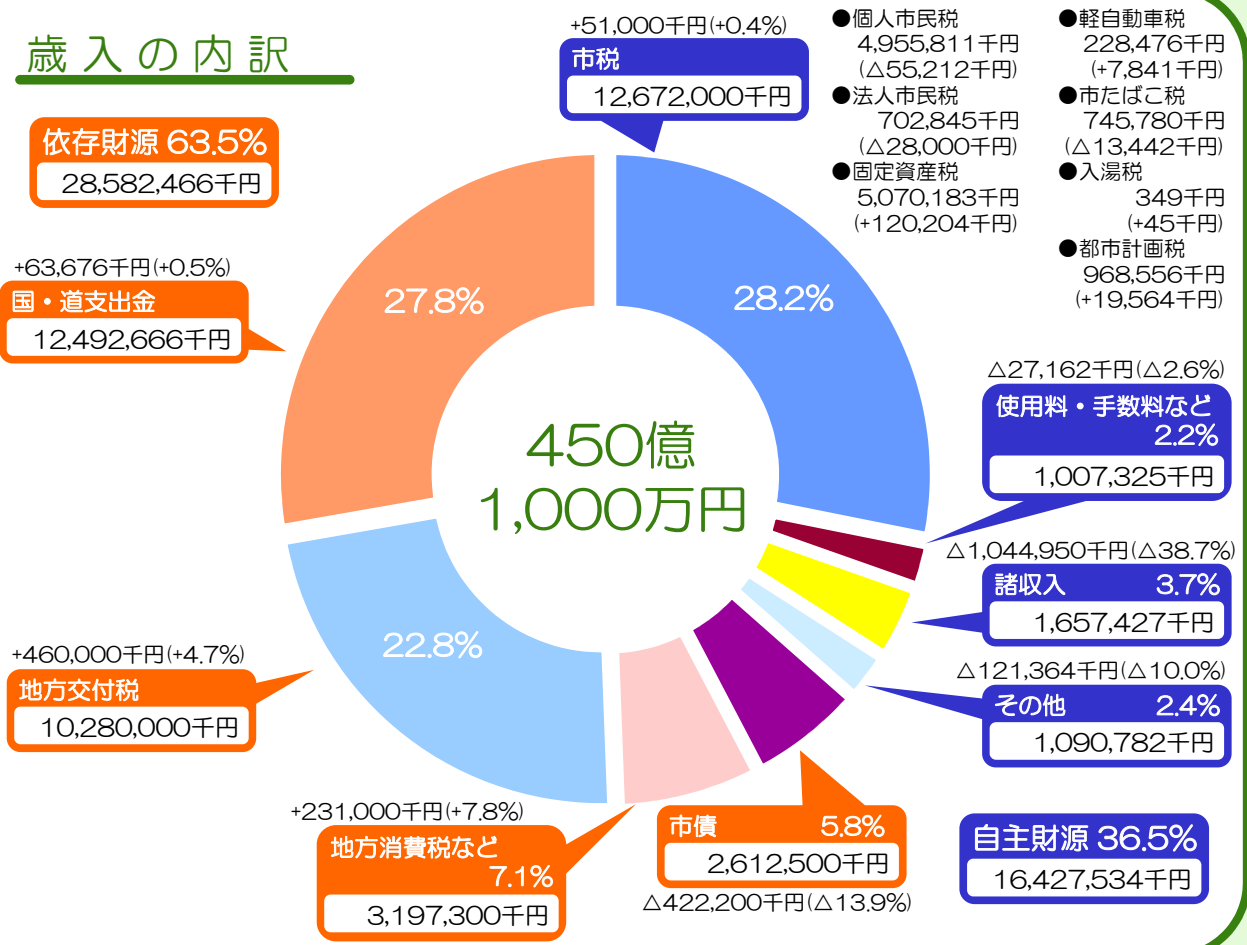


市長に答申書を手渡す西澤委員長

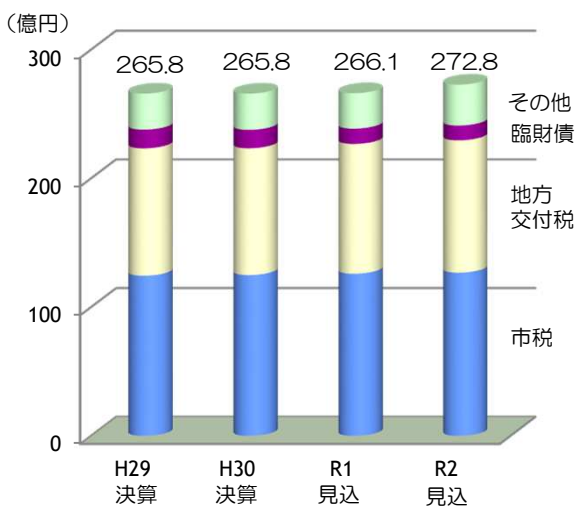


江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会の様子

歳入の内訳

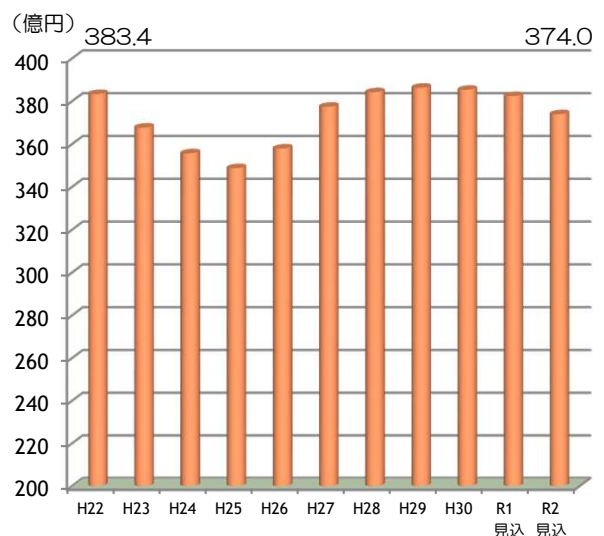


一般財源総額の状況



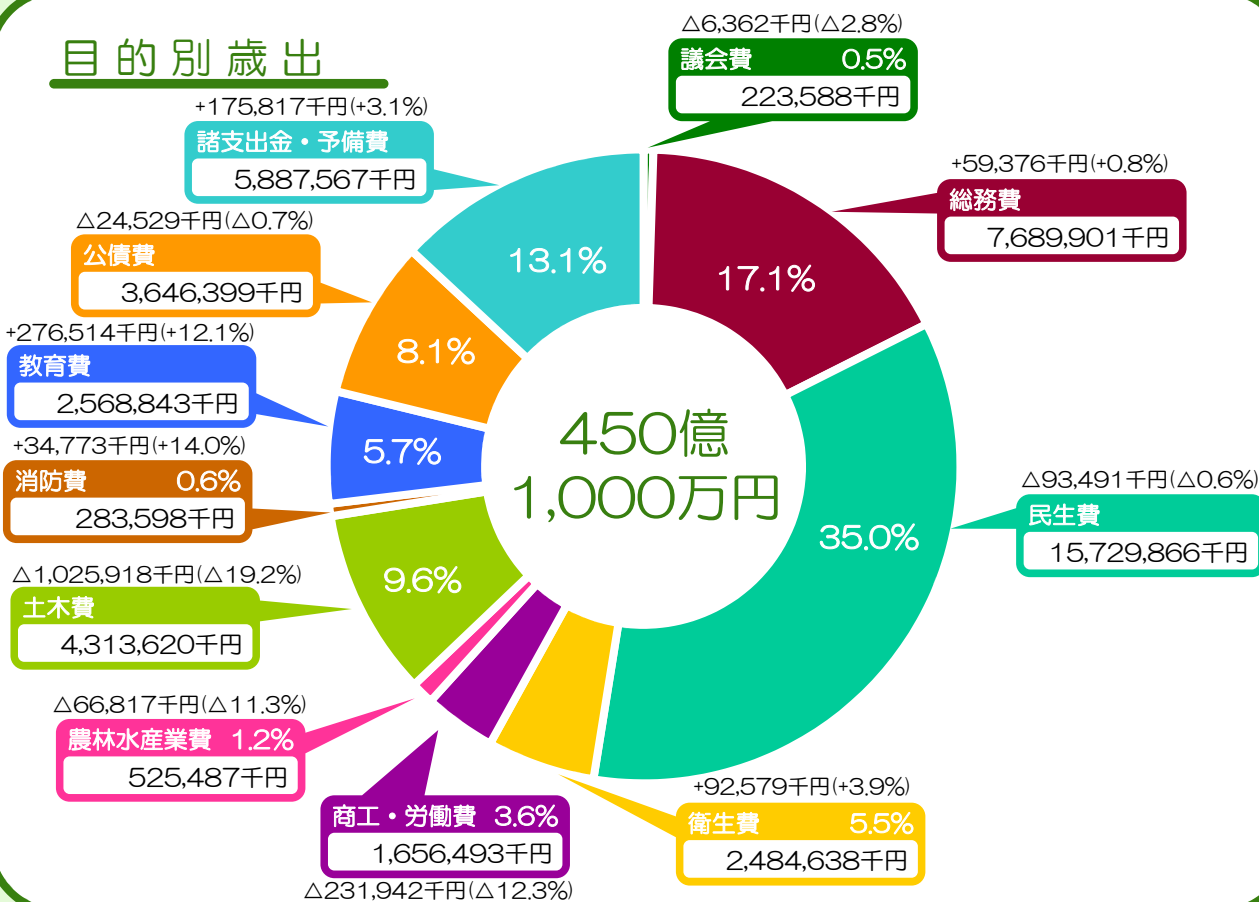
市税、地方交付税、臨時財政対策債及びその他（譲与税・交付金）を合算した一般財源総額は、地方交付税や地方消費税交付金の増により、令和2年度は増加する見込みです。

市債残高の推移



市債の残高は平成25年度末には349億円まで減少、平成26年度以降は学校耐震化や市営住宅の建替えなどにより増加を続けていましたが、大規模事業の終了に伴い平成30年度以降は減少に転じています。

目的別歳出



性質別歳出

